

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2020.11.30

下水道機構の『新技術情報』 第433号

(公財)日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

今年も残り32日となりました。

年末年始のイベントに関しても、中止ではなく、様々な工夫を凝らした開催をして欲しいなあと個人的には思っています。

プライベートで毎年行ってきた元日午前2時の初詣も今回はスタイルを変えていかなければならないと思い、友人達の間で色々検討しています。

様々な制限がありますが、その中でも新しい楽しみ方を発見していくことが、これからの生活様式の中で必要だと考えています！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第433号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・今週はありません。

■機構の行事予定

- ・今週はありません。

■Tea Break

- ・サンタクロースがやって来る時期になりました！！
(企画部 なすびさんからの投稿です)

■ピックアップ！機構情報

- ・エンジニアリングリポート
(雨水管理支援ツール(アラート)に関する共同研究)
- ・新研究テーマの紹介
(グリーンインフラ活用による下水道事業の推進に関する共同研究)

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・11/30付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

○今週はありません。

。○。

機構の行事予定

。○。

●第 390 回技術サロンを開催します！

日 時：令和 2 年 12 月 10 日(木) 16:00~17:00

場 所：Zoom ウェビナー

講演者：国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部

下水道処理研究室長 田嶋 淳氏

テーマ：国土技術政策総合研究所 下水道処理研究室が取り組んでいる研究内容について

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon390n>

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●サンタクロースがやって来る時期になりました！！

(企画部 なすびさんからの投稿です)

世の中の状況がどんなに変わろうとも、時間は確実に過ぎていきます。

そして、もうすぐクリスマスがやってきますね。

私は、中学 1 年生と小学 4 年生の子を持つ 2 児の父ですが、下の子はサンタクロースを信じています。上の子も小学生の間は、周りの子が親にクリスマスプレゼント買ってもらっているのを知っているにも関わらず、自分の家にはサンタクロースが来ると信じていました。

上の子は中学生になり、先日「クリスマスプレゼントは親が買っているのでしょ？」と聞かれたので、下の子に聞こえないところでちゃんと話しましたが、「妹には内緒にしてね。」とお願いしました。

さて、今年のクリスマスプレゼントは、当日までどこに隠しておこうかな～(笑)

。○。

ピックアップ！機構情報

(下水道機構情報 Vol. 15 No. 31 2020. 8 の中から記事をご紹介します)

。○。

・エンジニアングリポート

(雨水管理支援ツール(アラート)に関する共同研究)

近年、局地的集中豪雨の発生回数が増加傾向にあるとともに、台風・前線等による広域的な被害も拡大傾向にあります。下水道の浸水対策としてこれまで実施してきたハード対策は、多額の事業費と長期の事業期間が必要になることから、既存施設の能力を最大限に活用する「ソフト対策」の実施も求められています。

本研究は、XRAIN 等の気象レーダ観測情報に基づくリアルタイムおよび予測降雨情報を活用することにより、ピンポイントで下水道管きょ内の水位を最大 60 分先まで予測する「雨水管理支援ツール」を対象としました。研究目的は、その利活用方法を示すことで、リードタイムを極力確保した水防活動や自助等、浸水対策の一助とすることです。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2020-11-30-quarterly1>

・新研究テーマの紹介

(グリーンインフラ活用による下水道事業の推進に関する共同研究)

近年、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進める考え方の一つとしてグリーンインフラが注目されています。

下水道事業ではグリーンインフラ活用により得られる手法・効果として、雨水貯留・浸透機能による雨水対策・緑化等が代表的なものとして挙げられますが、他の手法・効果についてはこれまで十分な議論がされておらず、現状ではこれらの知見についても十分に取りまとめられていない状況です。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2020-11-30-quarterly2>

※PDFを開けない方は以下のURLから該当する記事を右クリックし「対象をファイルに保存」した後に、保存したファイルを直接開いてください。

→ <https://www.jiwet.or.jp/quarterly31>

下水道機構情報 Vol. 15 No. 31 2020. 8 (最新刊)

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly31>

WEB版機関誌下水道機構情報 Plus+ 19号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter19>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○。○。
はしわたし (みなさまの情報交流の場です)
。○。○。

＼(^-^)/皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○。○。
国からの情報
。○。○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション (2020. 11. 30 の情報です)

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

★下水道ホットインフォメーション

2020. 11. 30

下水道に関する国土交通本省関係の情報などを皆様にお送りするものです。
地方公共団体・関係団体の皆様におかれても、このホットインフォメーションに掲載したい情報をお持ちの場合、お気軽に返信メールでお知らせください。
適宜、関係者にお伝え下さい。

今週は、松戸市さんからマンホールカード、鶴岡市さんからビストロ下水道の情報をお送りしていますので、ぜひご覧ください！

さて、新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大しています。国土交通省の本省では、当面、地方公共団体等からの要望書等は、原則として、郵送など文書で受け付けさせていただくとともに、年末年始の訪問は、感染拡大防止の観点からお控えいただくようお願いしております。大変恐縮ですが、ご理解いただきますようお願いいたします。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 下水道官民連携見える化マップ（令和2年4月時点）の公表について（国土交通省）
 - インフラメンテナンスの優れた取組や技術開発を表彰！（国土交通省）
～第4回「インフラメンテナンス大賞」受賞者を決定～
 - 国会審議状況等について（国土交通省）
 - 松戸市初！マンホールグッズを販売します！（松戸市）
 - 第390回技術サロンを開催します。（（公財）日本下水道新技術機構）
 - NPO21世紀水倶楽部オンライン研究集会のお知らせ（21世紀水倶楽部）
「下水道雨水貯留管のマネジメント - 河川との関わりと運転管理を語る - 」
-
-

- 下水道官民連携見える化マップ（令和2年4月時点）の公表について（国土交通省）

国土交通省では、下水道分野の官民連携（PPP/PFI）を推進するため、国土交通省による調査に基づき、下水道分野に関する官民連携事業の各都道府県での実施状況（官民連携見える化マップ）を公表しています。

令和2年4月時点での実施状況を示したマップ等を以下URLにて公表しておりますので、是非ご活用ください。

- ・ 下水道官民連携見える化マップ（令和2年4月）
<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/content/001373034.pdf>
- ・ 下水道事業におけるPPP/PFI事業の実施状況（令和2年4月）
<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/content/001374792.pdf>
- ・ 官民連携（PPP/PFI）の活用
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000585.html

- インフラメンテナンスの優れた取組や技術開発を表彰！（国土交通省）
～第4回「インフラメンテナンス大賞」受賞者を決定～

国土交通省では、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、

防衛省とともに、「インフラメンテナンス大賞」の各省大臣賞等の受賞者を決定しました。なお、表彰式を令和3年1月8日（金）に開催する予定です。

下水道分野では、「下水道管内調査のライブ映像公開による下水道の見える化と地域住民との交流」（代表団体 管清工業株式会社 様）が国土交通大臣賞を受賞されています。

※インフラメンテナンス大賞は、日本国内における社会資本のメンテナンス（以下「インフラメンテナンス」という。）に係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

（報道発表資料）

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000250.html

○ 国会審議状況等について（国土交通省）

国会で以下のとおり下水道関連の質疑がありました。

◆11/26(木) (参) 国土交通委員会（維新）室井 邦彦議員
・都市部の浸水対策の強化について

◆11/27(金) (衆) 国土交通委員会（立民※）小宮山泰子議員
・下水道に起因する道路陥没の直近の状況について
・老朽化した下水道管渠の改修・更新を推進していく上での新たな取り組みについて
※立憲民主党・社民・無所属

（動画）

・衆議院

<https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>

・参議院

<https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

（一月以上経過した議事録は以下で検索）

<http://kokkai.ndl.go.jp/>

○ 松戸市初！マンホールグッズを販売します！（松戸市）

・松戸市初！マンホールグッズを販売します！
松戸市のマンホールふたが、初めてグッズになりました。
グッズ化したのは、昨年初めて登場したカラー版の「矢切の渡し」。
登場したばかりの貴重な絵柄を、皆さまのお手元にお届けします。
マンホールグッズをとおして、下水道に思いを馳せてみませんか？

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/jyougesuidou/gesuidou/manhole_items.html

・合格祈願！限定マンホールカードを配布します！
マンホールはその形から「落ちない（円形） 滑らない（表面の凹凸）丸く収まる（形状）」として、大変縁起の良いものとされています。
加えて、松戸市のふたデザインは「矢切の渡し」。
合格への「渡船」となるように願う気持ちを込めた、とっておきの合格祈願カードを松戸市として初めて制作いたしました。

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/jyougesuidou/gesuidou/goukaku_kigann_card.html

○ 第 390 回技術サロンを開催します。(公財) 日本下水道新技術機構)

(公財) 日本下水道新技術機構では、地方公共団体・民間企業等広く多くの下水道事業関係者を対象に、下水道に係わる最近の話題や新技術に関する交流の場として、月に1回(8月を除く)「技術サロン」を開催しております。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、開催を中断していましたが、12月よりWEBを活用して「技術サロン」を再開することとしました。

今回は、『国土技術政策総合研究所 下水処理研究室が取り組んでいる研究内容について』をテーマとして、国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水処理研究室長 田嶋淳氏を講師にお招きし開催いたします。

インターネット環境があれば、どこからでも参加出来ますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：

『国土技術政策総合研究所 下水処理研究室が取り組んでいる研究内容について』

ゲスト：国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部
下水処理研究室長 田嶋淳氏

日時：令和2年12月10日(木) 16:00~17:00

場所：WEB

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/salon390n>

○ NPO 21世紀水倶楽部オンライン研究集会のお知らせ(21世紀水倶楽部)
「下水道雨水貯留管のマネジメント - 河川との関わりと運転管理を語る -」

21世紀水倶楽部では、この度「下水道雨水貯留管のマネジメント」に焦点をあてたオンライン研究集会を企画しました。

近年、降雨現象の激化により浸水被害が深刻さを増しています。下水道の浸水対策は雨水管、ポンプ場を整備し、速やかに河川へ排除することが基本ですが、河川改修の遅れた区域や排水先に制約を受ける区域では、雨水貯留管の整備が選択される例が増えています。国においても貯留施設の整備を推進する方針が示されており、今後、雨水貯留管の一層の活用が想定されます。

本研究集会では、雨水貯留管の計画・運転管理について経験を有する自治体の現状を紹介するとともに、下水道と河川との連携方策、技術開発の方向性等、雨水貯留管の総合的なマネジメントのあり方について議論します。

1. 開催日時 令和3年1月28日(木) 13:30 - 16:15

2. 開催方法 Zoomでのオンライン開催

3. プログラム

(1) 鶴見川流域における大規模雨水貯留管

横浜市環境創造局計画調整部下水道事業マネジメント課長 早川正登氏

(2) 河川と連携した雨水貯留管の運転

名古屋市上下水道局技術本部計画部主幹(雨水対策の総合調整担当) 太田宗由氏

- (3) 寝屋川地下河川と流域下水道の増補管
元大阪府都市整備部下水道室長 長谷川明巧 氏
- (4) 雨水対策における河川と下水道の連携
元国交省江戸川河川事務所長 高島英二郎 氏
- (5) 総合討論

4. 参加申込み プログラム詳細は21世紀水倶楽部ホームページ：
<http://www.21water.jp/> に掲載されていますのでご参照ください。
なお参加申し込みはホームページ上の参加登録フォームからお願いします。
申し込み期限は12月25日（金）までですが、定員を50名とさせていただきます。

【参考情報】

- ◆ 報道資料「公営企業における更なる経営改革の取組状況」〈11/27 総務省〉
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01zaisei06_02000246.html
※R1年度末の経営戦略の作成、公営企業会計の適用状況が公表されています。
- ◆ 排水設備計画届等のデジタル化（試行）の実施について
〈11/20 東京都下水道局〉
https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/news/2020/1120_3952.html
- ◆ 40キロのマンホールふたが10メートル飛んだ住宅街ガス漏れ騒ぎ
“犯人”はケヤキの根 鹿児島市 〈11/21 南日本新聞〉
<https://news.yahoo.co.jp/articles/817c36bc6f9016f913bde677a3deee34da75a137>
- ◆ 郡山市の浸水対策「貯留管」を住民が見学 〈11/21 日テレNEWS24〉
<https://www.news24.jp/nnn/news86531105.html>
- ◆ 長久保赤水の地図がマンホールに 〈11/24 NHK NEWS WEB〉
<https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20201124/1000056582.html>
- ◆ Bistro 下水道の取り組みを動画で紹介しています 〈11/24 鶴岡市〉
<https://youtu.be/PJwQUh5UsQQ>
- ◆ 若手職員育成へ「下水道場」 団塊“ベテラン”退職…ノウハウ継承へ【愛媛】
〈11/24 テレビ愛媛〉
<https://news.yahoo.co.jp/articles/8ff21ea097bf17d458f0a0fdebd6f68780aa6fc86>
- ◆ 『トミカ』と『リカちゃん』をデザインしたマンホール
…本社のある葛飾区に設置 2020年度内〈11/22 レスポンス〉
<https://response.jp/article/2020/11/22/340563.html>
- ◆ 小千谷市にコイキング出現 ポケモンマンホールふた4カ所設置
〈11/26 新潟日報モア〉
<https://www.niigata-nippo.co.jp/news/local/20201126583602.html>
- ◆ 水道施設のダウンサイジング検討プロジェクト＝長崎市上下水道局
〈11/26 時事ドットコム〉
<https://www.jiji.com/jc/article?k=20201126Pr2&g=jmp>
- ◆ 水道広げず、橋は壊す…トヨタ膝元でも進む「街を畳む」選択
〈11/24 日経ビジネス〉

<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00206/112000008/>

◆ 行革甲子園 荻田町がグランプリ 水道管路地図電子化
1億1600万円経費削減 福岡 <11/23 毎日新聞>
<https://mainichi.jp/articles/20201123/ddl/k40/010/174000c>

◆ 静大、土木情報学研究所設立 官民と連携技術、知見蓄積
<10/2 静岡新聞>
<https://www.at-s.com/news/article/social/shizuoka/bosai/814917.html>

◆ 学校やビルの下水で監視 新型コロナ、ウイルス検出法確立へ 山梨大
<11/24 時事通信>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/bb9c8ee5d4f934be1da0b71846b2ffecbb63aff7>

◆ 感染防止、下水を調べよ 豪、コロナ検出なら住民検査 <11/24 朝日新聞>
<https://www.asahi.com/articles/DA3S14706484.html>

◆ 豪初バイオガス計画、下水処理場で実施へ <11/24 NNA ASIA>
<https://www.nna.jp/news/show/2121426>

◆ ベトナム世界遺産ハロン湾の水質改善等を支援、118億円の円借款
<11/25 ASEAN PORTAL>
<https://portal-worlds.com/news/vietnam/22667>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>
○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから
→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信停止はこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>
○ニューズレターはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>
○はしわたしのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>
○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>